

すなお

令和2年9月号

おやのことば

この道は

俺が俺がと言うたて

皆んな神の道、

神が働けばこそ

日々の道である。

明治二八年十月七日



すなお (立教183年9月号)

通 巻 No.722
発行所 天理教瀬戸路分教会
794-0007 今治市近見町4-5-10
☎ 0898-23-5004
FAX 0898-23-5123
発行日 2020.9.16
責任者 二宮英治

先月二十七日の朝、ようぼくの矢野律雄さんが出直されました。振り返れば一月くらいからはインフルエンザ流行に対しての面会禁止に始まり、その後新型コロナウイルスの感染拡大防止という名目からの面会禁止となりました。そして半年余り一度も出会えない、おさづけの取り次ぎも出来ないままに出直しの日を迎えてしまい、出会えたのはもう賑やかな律雄さんの声も聞くことの出来ない姿での再会でした。

会 長

本人が感染していた訳ではないのですが、その後親族の方との相談で親族の方でさえも身近に住んでおられる方のみの参列にするとの判断でしたので、教会関係の皆様への連絡も敢えて控えさせていただきました。私の勝手な判断で知っている人知らない人という形を作るべきではないと決断し事後報告の形にしました。申し訳ありませんでした。

魂の世界はがあると教えていただいています。その魂の世界をすなおに信じ、何かの機会にそれぞれが

(次ページへ)



二つ一つ

椿 信代

結婚後、夫婦で暮らし始めて約5ヶ月が経ちました。やっと新居での暮らしのにも慣れ、お互いの生活リズムが整ってきたところです。

夫婦と言っても赤の他人。普段は仲良くしていても、生まれた場所も育った環境も違い、考え方や受け止め方の違いから衝突することがあります。今日もある人からお二人は笑顔がよく似ていますね、と言われてとても嬉しかったのですが、実は中身…性格は真逆で水と油。陰と陽。プラスマイナス……etc（言い出したらキリがない）。知れば知るほど正反対の2人がよく一緒にいれるなあと思います。

けれどこれが神様の言葉にある「二つ一つ」なのかなあと思っています。違う人間同士が出会うからこそ、別の価値観や思いに触れて自らの心の成人ができるのかもしれません。

…まあ普段はここまで大人ぶれずすぐケンカしちゃうので、この原稿を書くことで、少しずつでも大きな心低い心になれるよう誓いたいと…思い…ます。

私たちは11月に予定している式に向けて準備の時期に差し掛かりました。こんなご時世でもありますし課題は山積みです。それでも縁があって出会えたことに感謝して、毎日仲良く通らせていただきます。

教会ニュース

ようぼくおつとめ総会延期

昨年11月に開催された大教会のようぼくおつとめ総会が今年も開催される予定でしたが、現状を考慮して第2回のようぼくおつとめ総会は来年の創立130周年祭以降へと延期されることになりました。開催日程は決まっていませんので、決まり次第報告します。

訃報連絡

先月27日に矢野律雄さんが享年83歳で出直されました。コロナの影響から近親者のみでの葬儀となりました。



律雄さんの魂に声を掛けていただいたり、御礼を言っていたきたいと思えます。そうすることによってもしかしたら、葬儀という形に参加することよりも深い思いを故人に届けることができるかもしれません。

コロナ終息の姿をまだまだ想像出来ない現在ですが、今後これに類することが起こって来た時に、それぞれ何が大切なのか何の為にすることなのかなどをしっかり考えてみて下さい。そして、今までは当然するべきことと思いついてしまっていることでも、もしかしたら余分な事があるかもしれません。それを考えるチャンスが今です。



矢野律雄さんを偲んで

鈴 代

律雄さんは8月27日未明、82歳の生涯を終え、安らかに旅立たれました。心からご苦労様でしたとお別れし、しばし律雄さんとの長い日々を振り返ってみました。

夫婦で教会に参拝されるようになったのは、並木通りで瀬戸路分教会が設立して間もない頃でした。以来「会長さん会長さん」と素朴に慕い純粋でぼくとつな人柄の律雄さんは、すなおで変わらない真実な信仰を通してくださいました。職場での大事故で命のないところ助けていただいた、と回復後も晩年に至るまで長い年月朝勤め参拝を欠かすことはなかったです。

人はみな様々な苦勞を抱えて暮らしています。どう心に受け止め、喜びに切り替えるかが信仰者の課題なのです、律雄さんの何事もサッパリと受け止め、そして多くの教友に心をかけてくださった数多くの真実を私は決して忘れません。

本当にご苦勞様でした。ゆっくりお休みなさい。